

# 展覧会

2020年 コレクション展 I

## 動く! 美術

動きはどう表現されてきたか

Motion in Art  
Visual Experiments in Expressing Motion

3月20日(金・祝)～9月22日(火・祝)

前期: 3月20日(金・祝)～6月28日(日)

後期: 7月11日(土)～9月22日(火・祝)

※6月29日(月)～7月10日(金)は展示替えのため休室

※毎月第2日曜日は公益財団法人伊藤文化財団のご協力により無料で観覧できます。

「特集」では、美術の中の「動き」に着目します。動き回る人物や動物、多様性に満ちた自然の営み—これらは、本質的に「静態的」なものである美術においてどのように作品化されているのでしょうか。絵画や立体作品の中でとらえられた様々な動きの表現を考えます。(常設展示室1～3)、そのほか「表現主義の版画」(常設展示室4・前期)、「近現代の彫刻」(常設展示室5)「洋画・日本画の名品—時代は動く、美術も動く—」(常設展示室6)「小磯良平記念室」「金山平三記念室」をあわせ、館所蔵の選りすぐりの作品を展示します。



敷内佐斗司《犬毛歩ケバ》1989年

### 関連イベント

#### ■学芸員によるギャラリートーク

日時: 4月25日(土)、6月13日(土) 16:00～(約45分)

場所: 常設展示室

※聴講無料、要観覧券、常設展示室入口付近集合

#### ■ミュージアム・ボランティアによるガイド・ツアー

日時: 会期中の金・土・日曜の13:00～(約45分)

場所: 常設展示室

※聴講無料、要観覧券、常設展示室入口付近集合

#### ■こどものイベント

日時: 6月6日(土) 時間、場所未定

※詳細は1ヶ月前にホームページにてお知らせします

### 小企画 美術の中のかたち—手でみる造形

#### 東影智裕 展

7月11日(土)～9月22日(火・祝)

※後期展示のみ

1989年に始まった触覚でも作品を鑑賞できるこの企画。今年、東影智裕(1978-)の作品を紹介。毛穴や体毛まで極めて精巧に表現された動物の頭部のような作品は、時に触まれた皮膚やその漆黒の瞳の表現と相まって、見る者に深い洞察をもたらします。作品に直接触れることで、作家の造形思考や行為をより身近に感じられる場を提示します。



東影智裕《視界 camel d-007》2013年 作家蔵

### 関連イベント

#### ■アーティストトーク

出品作家が、作品の制作や素材についてお話を伺います。

講師: 東影智裕(出品作家)

日時: 7月11日(土) 14:00～(約60分)

会場: 当館レクチャールームにて(定員100名)

※兵庫県立美術館「芸術の館友の会」会員優先

座席あり

※聴講無料

#### ■こどものイベント

講師: 東影智裕(出品作家)

日時: 7月26日(日) 13:00～15:30

会場: 当館アトリエ2および企画展示室(定員20人)

参加費: 500円程度

※詳細は、1ヶ月前に当館ウェブサイトにて発表

## ミナペルホネン/皆川明 つづく minā perhonen / minagawa akira TSUZUKU

6月27日(土)～8月16日(日)

デザイナーの皆川明(1967-)が設立したブランド、ミナペルホネン。流行に左右されず、長年着用できる普遍的な価値を持つ「特別な日常服」をコンセプトとし、独自のものづくりを続けてきました。ミナペルホネンと皆川明のものづくりとその思考をこれまでにない規模でご紹介します。



"pur" 2018-19\*AW photo: Mitsuo Okamoto

### 共催展

## ミニチュアライフ展 —田中達也 見立ての世界—

3月17日(火)～4月11日(土)

10:00～18:00

ギャラリー棟3階にて

入場料: 一般1,100円、中高生800円、小学生500円

主催: 読売新聞社、SHARE BASE、リパティ・コンサート

問合せ先: 0570-200-888(10:00-18:00)

キョードーインフォメーション



田中達也《SL(スシ・ロコモティブ)》  
©Tatsuya Tanaka

## 明治の金メダリスト 大橋翠石 ～虎を極めた孤高の画家～

4月18日(土)～5月31日(日)

10:00～17:00(入場は16:30まで)

ギャラリー棟3階にて

入場料: 一般1,200円、大学生800円、高校生以下無料

主催: 神戸新聞社

問合せ先: ハローダイヤル 050-5542-8600  
(2/25～6/5 全日8:00～22:00)



大橋翠石《大虎図》1944年、大垣市立東小学校蔵

# イベント

エントランスホールでのコンサートや名画上映会をはじめ、館内のさまざまな空間を使って有料、無料のイベントを多彩に展開します。

(※)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館時間、各イベントなどの日程は変更する場合がございます。最新の情報や詳しい情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

## 美術館の日

4月25日(土)・26日(日)

毎年4月に設けている「美術館の日」は、2002年4月6日に兵庫県立美術館が開館したのを記念する日です。2日間にわたり多彩なプログラムを開催!



協力(額縁提供): FLYING FRAMES

## ミュージアムコンサート

### ■美術館の調べ

4月11日(土)

山中淳史&前北恵美

デュオ・コンサート

～タフANELを讃えて～

<演奏曲目>タフANEL「トマの歌劇『フランチェスカ・ダ・リミニ』による幻想曲」/ヴァイオリン「フルートとピアノのための組曲 Op.34」ほか

<出演者のひと言>フルート奏者であり作曲家・教育者としても名を成した偉大な音楽家タフANELにまつわる作品を集めました。◎山中淳史(フルート) 武蔵野音楽大学卒業。日本フルートコンベンションコンクールアンサンブル部門銅賞受賞)◎前北恵美(ピアノ) 武庫川女子大学音楽学部卒業、兵庫教育大学大学院修了。神戸親和女子大学、兵庫大学非常勤講師)

エントランスホールにて 14:00～ 無料



山中淳史 前北恵美